

FOMA® F1100

ISSUE DATE:

'08.3

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書



目次／注意事項

ご使用前の確認

電話／連絡先

音／画面／照明設定

あんしん設定

カメラとマルチメディア

メール

ブラウザ

その他の便利な機能

端末管理

外部接続

WLAN

文字入力

ネットワークサービス

付録／外部機器連携／困ったときには

索引

ドコモ W-CDMA・無線LAN方式

このたびは、「FOMA F1100」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、裏面のお問い合わせ先にご連絡ください。

FOMA F1100は、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波が届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナアイコンが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い所や静かな所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・無線LAN方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は、音声デジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（連絡先、予定表、仕事、伝言メモ、音声メモ、ボイスメモなど）は、別にメモを取るなどして保管していただくようお願いいたします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDメモリーカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、付属のCD-ROMに収録されているActiveSyncなどを利用してOutlookの連絡先やメール、予定表などの情報をパソコンに転送・保管できます。

- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひとつおご理解いただくことができます。

1. 「安全上のご注意」を確認しましょう→P8
2. 電池パックをセットし、充電しましょう→P37
3. 電源を入れ、自分の電話番号を確認しましょう→P41、46
4. 本体のキーなどの役割を確認しましょう→P24
5. 画面に表示されるマーク(アイコン)の意味を確認しましょう→P27
6. メニューの操作方法を確認しましょう→P30
7. 電話のかけかた／受けかたを確認しましょう→P48、55

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
<http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html>
- ※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

知りたい機能をすぐに探すことができるように、本書は次の検索方法を用意しています。

メニュー一覧から

▶ P192

F1100の画面に表示されるメニューから探します。メニュー一覧には、お買い上げ時の設定内容を記載しています。

表紙インデックスから

▶ 表紙

表紙のインデックスを使って、本書をめくりながら探します。
※P2～3で例をあげて説明しています。

目次から

▶ P4

機能ごとに章で分類された目次から探します。

主な機能から

▶ P6

F1100の特徴である機能や新機能から探します。

索引から

▶ P235

機能名や知りたい項目のキーワード、サービス名で探します。

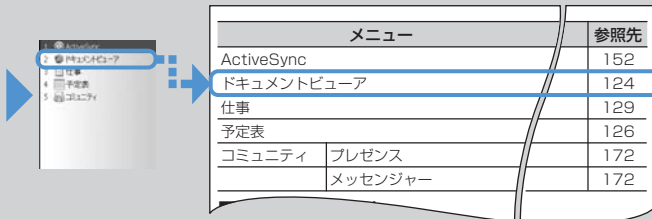
- この「FOMA F1100取扱説明書」の本文中においては、「FOMA F1100」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではmicroSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDメモリーカードが必要です。
microSDメモリーカードについて→P35
- 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書は主にお買い上げ時の設定をもとに説明しています。設定を変更していると、FOMA端末の表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。
- 本書内の「認証操作」という表記は、端末暗証番号（パスワード）を入力する操作、または指紋認証を行う操作を表しています。
端末暗証番号（パスワード）→P72 指紋認証→P76
- 本書の内容を一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

「ドキュメントビューア」を例に記載ページを探す方法を説明します。

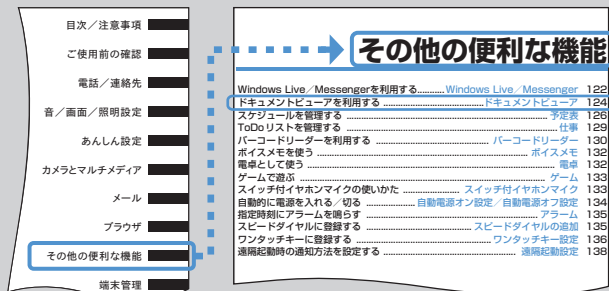
メニュー一覧 から探すとき

FOMA端末の画面に表示される言葉から探すことができます。



表紙インデックス から探すとき

表紙→章扉→機能の説明ページという順でインデックスを頼りに探すことができます。章扉には詳しい目次も掲載されています。



機能名称

索引にはこの名称を記載しています。

機能の概要説明と補足


代表的な操作方法

表紙インデックスに対応したインデックス

ドキュメントビューア
ドキュメントビューアを利用する

ドキュメントビューア (Picasel Viewer) を利用して、Word、Excel、PowerPoint、PDF、画像 (GIF、JPEG、BMP、PNG、WMF、EMF)、TXTファイルを表示します。
* ドキュメントビューアの詳細については、サブメニューのヘルプをご覧ください。

- 1** [スタート] ▶ [ビジネスツール] ▶ [ドキュメントビューア]
フォルダ一覧画面が表示されます。
- 2** フォルダを選択
各ファイルは次のように表示されます。
■: Wordファイル ■: Excelファイル
■: PowerPointファイル ■: PDFファイル
■: 画像ファイル ■: TXTファイル
■: ZIPファイル ■: 未対応ファイル
- 3** ファイルを選択



ドキュメントビューア画面

124 その他の便利な機能

- 画面の見かたは次のとおりです。
- ① **モードアイコン**
■: スームモード ■: パン (移動) モード
- 次のキーを押してショートカットを利用できます。
- 1**: 前のページを表示 **2**: ページを上にもスクロール
- 3**: 次のページを表示 **4**: ページを下にもスクロール
- 5**: 縦横表示の切り替え **6**: ページを右にもスクロール
- 7**: 最初のページを表示 **8**: ページを下にもスクロール
- 9**: 最後のページを表示 **0**: 表示をページに合わせる
- +**: ページを拡大表示 **-**: ページを縮小表示

パスワードが設定されたファイルを開く: パスワード入力画面でパスワードを入力

▼ **お知らせ**

- 画像データが多い場合など、ファイルによっては表示に時間がかかる場合があります。
- ドキュメントビューアに対応していない形式や複雑なデザインを含むファイルの場合、正しく表示されないことがあります。
- ZIP形式の圧縮ファイルに含まれるドキュメントや画像を表示できません。ただし、解凍はできません。
- パスワードが設定されたファイルの形式によっては、ファイルを開くことができない場合があります。

◆ **ドキュメントビューアのサブメニューを利用する**

ドキュメントビューアの各画面で右下に「メニュー」が表示されているときに [メニュー] を押すと、次の機能を利用できます。

現在のドキュメント	ドキュメントビューア画面への切り替え
検索	Word、Excel、PowerPoint、PDF、TXTファイルの文字検索
終了	ドキュメントビューアの終了

操作に関する補足説明

機能についての詳細説明や知っていると便利な情報

サブメニュー

[メニュー] を押して利用できる機能を五十音順に説明しています。

* ページはイメージです。本文中のページとは異なります。

キーと操作手順の表記について

本書で使用しているキーのイラストは「各部の名称と機能」に記載しています。→P24
また、本書では操作手順を次のように表記しています。

表記の例	意味
(2秒以上)	を2秒以上押し続ける
[スタート] ▶ [設定] ▶ [時計とアラーム] ▶ [日付/時刻] ▶ [各項目を設定] ▶ [完了]	ホームスクリーンで を押した後、[設定] → [時計とアラーム] → [日付/時刻] を順に選択し、各項目の設定を終了させた後、 を押す

目次

■ FOMA端末のご使用にあたって 表紙裏
■ 本書の見かた／引きかた 1
■ FOMA F1100の主な機能 6
■ 安全上のご注意 (必ずお守りください) 8
■ 取り扱い上の注意について 16
■ 知的財産権について 20
■ 本体付属品および主なオプション品について 22

ご使用前の確認 23

各部の名称と機能 FOMA端末の開閉 ディスプレイの見かた 機能選択 FOMAカードの使いかた microSDメモリーカード 電池パックの取り付けかた／取り外しかた 充電 電池残量 電源ON/OFF 初期設定 日付／時刻 自動時刻補正設定 通信モード設定 パケット通信モード設定 発信者番号通知設定 自局番号表示 オーナー情報 など

電話／連絡先 47

電話をかける 通話履歴 186／184 スピードダイヤル ワンタッチダイヤル 連絡先から電話をかける プッシュ信号 (DTMF) 発信オプション WORLD CALL 国際ダイヤル設定 プレフィックス設定 サブアドレス設定 車載ハンズフリー 電話を受ける エニーキーアンサー設定 受話音量 公共モード 伝言メモ 音声メモ 連絡先 など

音／画面／照明設定 63

音・バイブ設定 イルミネーション設定 プロファイル マナーモード 通話保留音設定 ノイズキャンセラ 通話品質アラーム 再接続アラーム 受信レベル低下通知 ホームスクリーン 省電力設定 表示設定 など

あんしん設定 71

暗証番号について FOMAカード (SIMカード) 暗証番号 (PIN) ブロック解除 デバイスロック 指紋認証機能 キーロック 遠隔ダイヤルロック パスワードマネージャ ガードフォルダ設定 暗号化 証明書 発番号なし動作 セルフモード 連絡先登録外着信拒否 呼出時間表示設定 など

カメラとマルチメディア 87

静止画撮影 静止画編集 動画撮影 動画再生 Windows Media Player など

メール 97

メールについて メール設定 新規挿入 下書き保存 受信 返信 転送 メールの便利な機能 メール操作 SMS作成・送信 SMS下書き保存 SMS受信 SMS返信 SMS転送 SMSの操作 SMSの保存 SMS設定 など

ブラウザ 115

Internet Explorer Mobileについて ブラウザの設定 ホームページの表示 表示中の操作 履歴 お気に入り など

その他の便利な機能 121

Windows Live/Messenger ドキュメントビューア 予定表 仕事バーコードリーダー ボイスメモ 電卓 ゲーム スイッチ付イヤホンマイク 自動電源オン設定/自動電源オフ設定 アラーム スピードダイヤル ワンタッチキー設定 遠隔起動設定 など

端末管理 139

タスクマネージャ ファイル エクスプローラ プログラムの管理 パージョン情報 通話料金/通話時間設定リセット データー一括削除 など

外部接続 147

パソコンとの同期 赤外線通信/Bluetooth通信 USB接続 FOMAプロキシ VPN パケット接続設定 Biz・ホーダイ設定 など

WLAN 165

WLANとは アクセスポイント接続 WLAN暗証番号変更 WLAN電話をかける/受ける 基本内線着信識別設定 (WLAN) SIPアドレス一覧表示 メッセンジャー プレゼンス メンバー追加 状態通知 WLAN環境設定 など

文字入力 177

文字入力について かな入力方式 T9入力方式 単語登録 動作設定 学習クリア など

ネットワークサービス 183

留守番電話サービス キャッチホン転送でんわサービス 番号通知お願いサービス 通話中着信設定 通話中の着信動作選択 迷惑電話ストップサービス 遠隔操作設定 デュアルネットワークサービス 英語ガイドダンス サービスダイヤル 追加サービス (USSD 登録) OFFICEED など

付録/外部機器連携/困ったときには 191

メニュー一覧 サブメニュー設定項目のお買い上げ時一覧 キーの文字割り当て一覧 マルチアクセスの組み合わせ FOMA端末から利用できるサービス オプション品・関連機器のご紹介 故障かな?と思ったら、まずチェック エラーメッセージ一覧 保証とアフターサービス ソフトウェア更新 Windows Update セキュリティスキャン 主な仕様 携帯電話機の比吸収率 (SAR) について など

索引 235

FOMA F1100の主な機能

FOMAは、第三代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

F1100の主な特徴

Windows Mobile 6 Standard + FOMA

Windows Mobile 6 Standardを搭載し、スマートフォンとしての充実した機能を活用できるだけでなく、FOMA端末ならではの使いやすく便利な機能を兼ね備えています。

スライドデザインとワンタッチキー

小さな携帯電話サイズとスライドデザインを採用したことにより、ビジネス端末でありながら、手軽に電話やメール送受信操作ができます。端末を閉じていても使える4つのワンタッチキーには、3つのモードに4つずつ12個の連絡先や機能の呼び出しを登録することができます。→P27、51、136

※ ご使用の環境によっては、あらかじめワンタッチキーに機能が割り当てられている場合があります。詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

高速通信対応

FOMAハイスピードエリア対応で、受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsの高速通信を行うことができます。

無線LAN機能

IEEE802.11a（最大54Mbps）、IEEE802.11b（最大11Mbps）、IEEE802.11g（最大54Mbps）の無線LAN規格に準拠しており、大容量の送受信を必要とするビジネスの場で役立ちます。会社、ご自宅、公衆無線LANエリアで、無線LANを利用して快適なデータ通信が可能です。→P166

ドコモ公衆無線LANサービス^{※1}をご利用いただければ、空港、駅、ホテル、カフェなどで無線による高速大容量インターネットアクセスが可能です。ご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、ドコモのホームページをご覧ください。システム環境が整備されている企業内などでは、オフィス内のWLAN電話^{※2}としても利用できます。また、在席や離席、通話中などの状態を通知するプレゼンス機能^{※2}にも対応しています。→P170、172

※1 お申し込みが必要な有料サービスです。

※2 WLAN電話機能やプレゼンス機能を利用するためには、各機能に対応したサーバが用意されているシステム環境が必要です。詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

フルブラウザと多彩なメール

パソコン向けに作成されたホームページを閲覧できるInternet Explorer Mobileを搭載しています。→P117

また、FOMA端末どうしてやりとりできるSMSに加え、mopera /mopera Uや一般のプロバイダのメールアドレス、オフィスで利用しているメールアドレスなどを複数登録できます。外出先でも、オフィス環境とのシームレスなメール送受信が行えます。→P99

※ moperaおよびmopera U、一般のプロバイダのメールアドレスを利用するためには、それぞれ別途契約が必要です。

Windows Live / Messenger

Windows LiveとMessengerを搭載し、電子メールやスペース、チャットなど、Microsoftが提供する様々なオンラインサービスを利用できます。→P122

※ ご利用の際にはWindows Live IDが必要となります。あらかじめパソコンなどからWindows Live IDを取得してください。

その他の多彩な機能

データシンクロ機能

付属のCD-ROMに収録されているActiveSyncなどを使って、USBケーブルや赤外線通信、Bluetooth®通信経由で接続したパソコンと、メールや連絡先、予定表などのOutlookデータと同期を取ることができます。→P148

ドキュメントビューア

FOMA端末やmicroSDメモリーカードに保存したPDFデータ、Word、Excel、PowerPointファイルなどのパソコン文書を表示することができます。→P124


赤外線通信とBluetooth機能

Bluetooth対応機器とワイヤレス接続し、データ通信やハンズフリーで通話することができます。また、赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末やパソコン、Bluetooth対応機器やBluetooth機能が搭載されたパソコンとのデータの送受信もできます。→P153

プログラムによる拡張

Windows Mobile 6 Standard対応の各種プログラムをインストールして、F1100の機能を拡張することもできます。→P142

クイックガイド

取扱説明書が手元にない外出先でも、本FOMA端末のブラウザを使って閲覧できるクイックガイドを用意しました。クイックガイドには、メニュー構成と概要説明、代表機能の操作説明のほか、取扱説明書（本書）の「故障かな？と思ったら」と「こんな表示が出たら」をそのまま収録しています。クイックガイドを閲覧するには、 [スタート] ▶ [生活ツール] ▶ [クイックガイド] を選択します。

あんしん設定

指紋認証

FOMA端末を閉じたまま指紋センサーに指をスライドさせるだけで認証を行うことができるので、ダイヤルキーによる端末暗証番号（パスワード）の入力操作を省略できます。→P76

各種セキュリティ機能

大切な個人情報を守ったり、第三者によるFOMA端末の使用を防止するさまざまなセキュリティ機能を備えています。目的に応じて使い分けてください。

- デバイスロック→P75
- 遠隔ダイヤルロック→P79
- ガードフォルダ→P81
- 暗号化→P83

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス（有料）→P184
- キャッチホン（有料）→P185
- 転送でんわサービス（無料）→P185
- 迷惑電話ストップサービス（無料）→P187
- デュアルネットワークサービス（有料）→P188

※ 迷惑電話ストップサービス以外は、お申し込みが必要なサービスです。



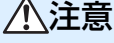
F1100のご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA端末はiモード機能（iモードメール、iモードのサイト（番組）への接続、iアプリなど）には対応していません。
- 本FOMA端末では、定額制料金サービス「パケ・ホーダイ」はご利用いただけません。大量のパケット通信を行う場合には、「Biz・ホーダイ」のご契約をおすすめします。


安全上のご注意（必ずお守りください）






- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
--	---------------------

 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 「安全上のご注意」は次の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取り扱いについて（共通）.....	9
FOMA端末の取り扱いについて	10
電池パックの取り扱いについて	12
オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ、車内ホルダ）の取り扱いについて.....	13
FOMAカードの取り扱いについて.....	14
医用電気機器近くでの取り扱いについて.....	14

◆FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険



禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。



水濡れ禁止

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると、発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。



指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック F10

卓上ホルダ F23

FOMA ACアダプタ 01/02

FOMA DCアダプタ 01/02

FOMA 乾電池アダプタ 01

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02

FOMA補助充電アダプタ 01

FOMA海外兼用ACアダプタ 01

※ その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

⚠警告



禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。



禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。

また充電もしないでください。ガスを引火する恐れがあります。



指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いまままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. 電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

注意



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

故障の原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかご注意ください。

けがなどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。



指示

FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

◆ FOMA端末の取り扱いについて

警告



禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。



禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。



禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。



禁止

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDメモリーカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、感電、故障の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。



指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。

また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

スピーカーホン機能を動作させて通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。



指示

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。



注意



禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。



禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。



禁止

FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。

強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。



禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。

液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。



禁止

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。難聴になる可能性があります。



指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	材質	表面処理
マルチカーソルキー	アルミニウム	アルマイト処理
指紋センサー	ステンレス	三価クロムメッキ
充電端子 通信端子	銅	金メッキ



指示

FOMA端末を閉じる際は、指や手のひら、ストラップなどを挟まないようご注意ください。けがなどの事故や破損の原因となります。

◆電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠危険



禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。



禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。



禁止

火の中に投下しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。



禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。



指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。失明の原因となります。

⚠警告



禁止

落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。



電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。



ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

注意



一般のごみと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。



濡れた電池パックを充電しないでください。

電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。



電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。

皮膚に傷害を起こす原因となります。

◆オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ、車内ホルダ）の取り扱いについて

警告



アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。

感電、発熱、火災の原因となります。



ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気が多い場所では使用しないでください。

感電の原因となります。



DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災の原因となります。



雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。

落雷、感電の原因となります。



コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、故障、感電、傷害の原因となります。



充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。



アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。

感電、火災の原因となります。



濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。

感電の原因となります。



指定の電源、電圧で使用してください。

指示

誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。

ACアダプタ：AC100V

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナースペース専用）

海外で利用可能なACアダプタ：
AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）



DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指示

指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

指示



ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

指示



アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。

指示

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。



長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

感電、火災、故障の原因となります。



万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

感電、発煙、火災の原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。

電源プラグを抜く

感電の原因となります。

◆ FOMAカードの取り扱いについて



注意



指示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。

手や指を傷つける可能性があります。

◆ 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。



警告



指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。

- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。



指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上の注意について

◆ 共通のお願い

- 水をかけないでください。
 - FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっていません。風呂場など、湿気の多い所での使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し、故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意ください、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれたりすることがあります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
 - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
 - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。

- 多くのものが詰まった荷物の中に入れてたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

- FOMA端末、アダプタ（充電器含む）、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
 - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

◆ FOMA端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
 - 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。
 - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
 - 故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。
 - 故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
 - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子キャップ、microSDメモリーカードスロット挿入口キャップをはめた状態でご使用ください。
 - ほこり、水などが入り故障の原因となります。

- リアカバーを外したまま使用しないでください。
 - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- FOMA端末のディスプレイ部分の背面に、ラベルやシールを貼らないでください。
 - FOMA端末を開閉する際にラベルやシールが引っかかり、故障、破損の原因となります。
- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。
 - 指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- 指紋センサーは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で清掃してください。
 - 指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり、認証性能が低下したり、指が触れていない状態でも認証中として誤動作したりすることがあります。
- microSDメモリーカードの使用中は、microSDメモリーカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
 - データの消失、故障の原因となります。

◆ 電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
 - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックは、電池残量なしの状態でも保管、放置をしないでください。

- 電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

◆ アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
 - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
 - 故障の原因となります。

◆ FOMAカードについてのお願い

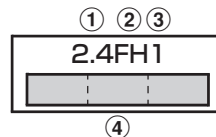
- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。


- お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。
- 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなどの窓口にお持ちください。
- 極端な高温や低温は避けてください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
- データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
- 故障の原因となります。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けしないでください。
- 故障の原因となります。

◆ Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、ダイヤルアップ通信、オブジェクトプッシュ、シリアルポートを利用できます。また、オーディオではオーディオ/ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。(対応しているBluetooth対応機器のみ)

- 周波数帯について
FOMA端末が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
- ② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 1：想定される干渉距離が10m以下であることを示します。
- ④ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

Bluetooth対応機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆無線LAN (WLAN) についてのお願い

●無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。

- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

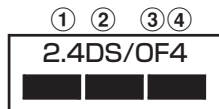
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

●無線LANアクセスポイントや本FOMA端末に内蔵されている無線LAN (WLAN) は、セキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容によってセキュリティが十分でない場合があります。無線LAN (WLAN) を使用した通信を行う際にはご注意ください。

●無線LAN (WLAN) を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●周波数帯について

本FOMA端末がIEEE802.11b準拠、IEEE802.11g準拠の無線LANで使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



⑤

① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。

③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。

④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

⑤ ■■■■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。本FOMA端末のIEEE802.11aで使用される8つのチャンネルについては、電池パック挿入部と個装箱に以下のラベルで表示されています。

IEEE802.11b/g

IEEE802.11a

J52 W52 W53

J52 W52 W53

電池パック挿入部での表示

個装箱での表示

- J52：5.170～5.230GHz／34、38、42、46chは使用できません。

- W52：5.180～5.240GHz／36、40、44、48chが使用できます。

- W53：5.260～5.320GHz／52、56、60、64chは使用できません。

IEEE802.11aを使用する場合は、上記チャンネルを利用できる無線LAN製品とのみ通信が可能です。

● W53 (52／56／60／64ch) では、無線LANアクセスポイントのDFS機能によって使用するチャンネルが変更された場合、通信が中断することがあります。

● 本品のIEEE802.11a (5GHz) WLANは屋外利用禁止です。

● 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆ 注意

- 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。
- Bluetooth機能は日本国内で使用してください。FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

- 無線LAN (WLAN) 機能は日本国内で使用してください。FOMA端末の無線LAN機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

知的財産権について

◆ 著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

◆ 商標について

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「mova」「iモード」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「WORLD WING」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「セキュリティスキャン」「公共モード」「OFFICEED」「IMCS」および「FOMA」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。

- Microsoft®、Windows®、Windows Mobile®、Windows Vista®、Outlook®、Internet Explorer®、Windows Media®、PowerPoint®、ActiveSync®、Windows Live™は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。本書ではExcel、Wordのように表記している場合があります。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。
- microSDロゴは商標です。
- ドキュメントビューアはPicstel Technologiesにより実現しています。
Picstel、Picstel Powered、Picstel Viewer、Picstel File Viewer、Picstel Document Viewer、Picstel PDF ViewerまたPicstelキューブロゴはPicstel Technologiesの商標、または登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- T9®およびT9ロゴマークはNuance Communications, Inc.と米国およびその他の国におけるNuance所有法人の登録商標です。
- T9テキストインプットは全世界において特許を取得または申請しております。



- その他、本取扱説明書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
 - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
 - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
 - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

◆その他

- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:

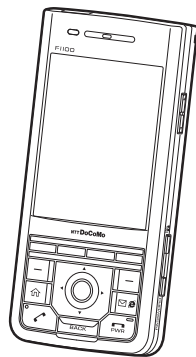
4,901,307	5,504,773	5,109,390	5,535,239
5,267,262	5,600,754	5,416,797	5,490,165
5,101,501	5,511,073	5,267,261	5,568,483
5,414,796	5,659,569	5,056,109	5,506,865
5,228,054	5,544,196	5,337,338	5,657,420
5,710,784	5,778,338		
- 本製品には、株式会社リコーが、リョービイマジクス株式会社の字面をもとに、デザイン制作したHGNIゴシックTrueTypeフォントが搭載されています。

本体付属品および主なオプション品について

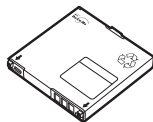
〈本体付属品〉

FOMA F1100

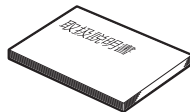
(リアカバー F26、保証書含む)



電池パック F10



取扱説明書



CD-ROM (2枚)

・ FOMA F1100用CD-ROM

FOMA F1100でデータ通信をする際に必要なソフトウェアのほか、PDF版「パソコン接続マニュアル」および「区点コード一覧」などを収録しています。

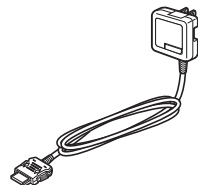
・ お使いになる前にディスク (Getting Started Disc)

FOMA F1100のデータをパソコンと同期させるソフトウェア「ActiveSync (Windows 2000、Windows XP用)」と「Windows Mobileデバイスセンター (Windows Vista用)」、これらのソフトウェアをインストールする際に同時にインストールできる「Windows Mobileデバイスハンドブック」を収録しています。

〈主なオプション品〉

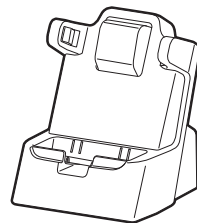
FOMA ACアダプタ 01/02

(保証書、取扱説明書付き)



卓上ホルダ F23

(取扱説明書付き)



その他のオプション品→P208